

第 60 長崎都市経営戦略推進会議

平成 29 年 6 月 16 日（金）

10：00～12：00

長崎商工会議所 2F 特別会議室

議 題 等	資 料
1. 議長挨拶	
2. 議題等 ＜協議事項＞ （1）第 15 回長崎サミットについて ＜その他＞ （2）ワーキングの活動状況	資料 1
3. 閉会	

＜今後のスケジュール＞

第 6 1 回長崎都市経営戦略推進会議	H29 年 7 月 3 日
第 6 2 回長崎都市経営戦略推進会議	H29 年 7 月 24 日
第 1 5 回長崎サミット	H29 年 8 月 1 日

第 15 回長崎サミットへの対応方針（案）

基本的な考え方

□ 大きく 2 つに分けて議論

1. 前回サミットで出された意見、方向性の具体化に向けた対応状況と今後の進め方
2. 長崎サミットにおいて重点的に対応すべきテーマ

例 1 人口減少対策、人材育成と地域への定着推進

※ 現時点で優先的に対応すべき事項

例 2 新幹線の開業に向けた課題への対応

※ 状況に応じて対応

□ 長崎サミットにおける対応

1. 第 14 回長崎サミットにおける意見や方向性の具体化に向けた対応状況と今後の進め方

(1) 方向性を再確認し対応方針を示す。

(2) 対応するテーマ

① 「交流の産業化」の推進

- ・ 従来からの長崎サミットプロジェクトの目的である「外貨」を取り込むことによる、経済活性化、人口減少対策等と同じ方向性のものであり、主体的に取り組むことが必要

② 「長崎市版 DMO」設立

- ・ DMO の目的、期待される経済効果等、観光まちづくりに向けての関係者の合意形成

③ MICE の推進

- ・ 地域経済等へできる限り大きな波及効果が出るように、産学官が一体となって取り組む体制

④ 長崎サミットプロジェクトに対する資金等支援体制強化

- ・ 長崎サミットプロジェクトの持続的な活動ができる体制をつくるため、経済界を中心とした支援を受けて、一層の資金面での充実、支援の強化・透明性を図る。

⑤ 造船・海洋人材育成、研究開発拠点整備の検討

- ・ 長崎のポテンシャルを活かして、造船・海洋に係る人材と技術の発信・供給に貢献できる体制づくりを行う。

⑥ 水産振興

- ・ 観光と水産を結び付ける取組、養殖、輸出等の振興

2. 長崎サミットにおいて重点的に対応すべきテーマ

(1) 人口減少対策、人材育成と地域への定着推進

特に若年層の人口流出に歯止めがかからず、地域活力の衰退が危惧されている中で、長崎サミットとして有効な方策を確認し、集中的に取り組む。

(2) 新幹線の開業に向けて

夏に予定されている軌間可変技術評価委員会の検討結果を踏まえて、必要な対応を確認する。

3. 長崎サミット会議の運営の検討課題

(1) 会議の時間配分

(2) 出席者（傍聴者）の拡充

(3) 展示の発信力強化、魅力化

テーマごとの課題・対応状況等

□ 第14回長崎サミットにおける意見や方向性の具体化に向けて

「交流の産業化」の推進

1. トップの発言の概要

(1) 観光とまちづくりの融合

(2) 民間の活動・チャレンジが重要

① 観光客等の消費拡大促進

② 新たな事業への取組、事業の拡充等による収益拡大対策 等

2. 推進会議での対応方針

(1) 県、長崎市の総合戦略の課題・目的を共有し、経済界として必要な活動を展開

(2) 経済団体等における検討・活動状況を踏まえ、それらと調整しながら、必要があればWTでも検討

「長崎市版 DMO」の設立

1. トップの発言の概要

(1) 長崎市版 DMO について関係者の合意形成等に向けた議論の深化

① 体制づくり、数値目標も含めた戦略策定

② DMO の目的、波及効果等出口戦略の組立てによる新たなビジネスの創出促進

2. 推進会議での対応方針

(1) 長崎市、長崎国際観光コンベンション協会（DMO 候補法人）とともに、「長崎市版 DMO」確立に向けての合意形成に取り組む。

① 「長崎市版 DMO」の体制づくり等に向けた推進協議会、戦略委員会、部会への参画

- ② 推進協議会に向けた対応方針等の確認
- (2) 合意形成を踏まえた WT 等の組成
 - ① テーマについては DMO の部会等との連携・調整

MICE の推進

- 1. トップの発言の概要
 - (1) オール長崎で誘致等の当事者となって取り組む
 - ① 誘致等に係る産学官が一体となった協力体制の構築
 - ② 民間による誘致等に必要な資金の協力
 - ③ 民間事業者のビジネス参画等による経済効果の拡大
- 2. 推進会議での対応方針
 - (1) MICE の意義、経済波及効果等について、市民の一層の理解促進を図る。
 - (2) MICE 誘致推進協議会に参画し活動
 - (3) MICE 事業者ネットワークに参画し、MICE 開催によるビジネスチャンスの具体化を図る。

長崎サミットプロジェクトに対する資金等支援体制強化

- 1. トップの発言の概要
 - (1) 長崎サミットが具体的成果を挙げるための基盤強化には、民間の活動に必要な資金の確保・充実が必要
 - ① 公益法人等を設立し、資金の受け皿とし、「外貨」獲得に有効な 4 分野に支援する。
 - ② 資金支援により、新たな事業にチャレンジできる環境をつくる。
- 2. 推進会議での対応方針
 - (1) 各経済団体の協力を得ながら、企業等に対する資金支援をお願いする。
 - (2) 法人化に向けた体制づくり、事務的な手続きを進め、まずは、一般社団法人を設立する。

造船・海洋人材育成、研究開発拠点整備の検討

- 1. トップの発言の概要
 - (1) 人材育成・研究開発拠点の 2019 年度設立を目指す。
 - (2) 造船関連企業のニーズ等を踏まえながら、必要な人材育成・研究開発拠点の整備についてワーキングで検討を行う。
- 2. 推進会議での対応方針
 - (1) 人材育成、研究開発について、テーマを設定し、関係者において素案を作成
 - (2) WT において、さらに検討を深め、取りまとめの上、サミットにおいて報告。行政、大学、関連企業の連携・役割分担を強化する。
 - (3) WT における検討課題等について、特区を活用した課題解決につなげていく。

水産振興

1. トップの発言の概要

(1) 地域の水産振興のために、大学の知見を活用しながら、サミットプロジェクトにおいて検討

2. 推進会議での対応方針

(1) 消費拡大に向け WT で検討し、活動に移していく。

① 「魚の美味しいまち長崎 海の幸グルメクーポン」の利用促進等

② 水産物の消費・流通の拠点施設の設置については、長崎市の調査結果を踏まえ、WT において検討

(2) 水産振興に係る新たなテーマを設定し、WT で検討

① 長崎大学における研究成果等をもとに、産学官で課題を抽出し、テーマを設定する。

□ 長崎サミットにおいて重点的に対応すべきテーマ

人材の育成と地域への定着促進

1. トップの発言の概要

(1) 産学官が連携して対応できるシステムの構築

2. 推進会議での対応方針

(1) 企業の採用、人材育成等に係る実態把握、要因分析等を行いながら必要な施策を検討

① 県の産業人材育成戦略の推進と連動しながら WT で検討

② 大学等と経済界との情報共有・連携強化

(2) 県・市における、人材育成、地元定着等に係る施策と産業振興施策との連動による構造的な課題（人材の受入態勢の整備等）の解決

新幹線の開業に向けて

1. トップの発言の概要

(1) 初夏に予定されている軌間可変技術評価委員会の検討結果を踏まえて、必要な対応を確認する。

2. 推進会議での対応方針

(1) 関係機関との情報交換を行い調整のうえ、効果的な策を選択して活動

第15回長崎サミットにおける人口減少・卒業生地元定着対策について議論検討(案)

長崎サミットにおける確認

長崎サミットとして一体となって重点的に取り組むべきテーマを明確にし、2020年までに集中的に活動

目指すべき方向性(議論の出口)

現状・課題認識に必要なデータ

- 人口の推移・予想
 - 生産年齢人口
 - 自然減・社会減の推計
- 大学の現状
 - 就職先
 - ・学生の意向と現実
 - COC+事業の実施状況
- 企業の現状
 - 有効求人倍率
 - 人手不足感
 - 生産性
 - ・従業員1人当たりの付加価値額等
 - 産業人材育成戦略策定時のアンケート 等

2020年までに重点的に取り組むテーマ

1. 産学官の情報共有、対策の基盤づくり
 - Nなびの充実、本格的な活用体制強化
2. 企業の受入体制充実・強化
 - 魅力ある職場づくり
 - 魅力の発信力強化
3. 学生の地元定着に向けた学生等に対する支援制度充実(奨学金)

中長期的テーマの検討

1. 産業構造転換への道筋づくり
2. 働き方改革の推進

具体化に向けた手法

1. Nなびへの情報集約
 - 情報収集
 - 発信機能、マッチング機能の強化
2. 就業環境の整備
 - 福利厚生への支援
 - 情報発信手段の提供
3. 奨学金制度の拡充・普及
4. 県「産業人材育成戦略」の具体化

具体化に向けた手法

1. 新産業創出、創業支援体制の構築
2. 生産性向上対策
 - ICT等生産性向上投資への助成
3. 学校におけるキャリア教育充実・強化 等

第15回長崎サミット 準備工程表(案)

H29.8.1

項目	内容	6月		7月		8/1(火) 第15回 サミット
		6/16(金) 第60回 推進会議		7/3(月) 第61回 推進会議	7/24(月) 第62回 推進会議	
意見交換	テーマの決定	テーマの決定				
	発言予定項目・概要	発言予定項目・概要の聴取				
	発言予定内容			発言予定内容の聴取	発言内容調整決定	
	発言一覧、進行表				発言一覧	進行表作成
	提議、資料	提議・資料(案)作成				
	進行役との打合せ					打合せ
運営・設営	ディスプレイ	希望聴取	調整・打合せ・機材手配		ディスプレイ機材	
	会場設営			ホテル	会場レイアウト等の調整	
	スタッフ体制			スタッフ体制決定	スタッフ打合	
	印刷					印刷
	備品					備品準備
	搬入					搬入
案内	案内		トップ案内		一般案内	
マスコミ	ニュースリリース			ニュースリリース	マスコミレク	

第15回長崎サミット トップ発言予定

【回答期限：テーマ、項目及び概要…6月27日（火）】

団体名 _____

テーマ	
項目 及び 概要	

テーマ	
項目 及び 概要	

テーマ	
項目 及び 概要	

テーマ	
項目 及び 概要	

テーマ	
項目 及び 概要	

テーマ	
項目 及び 概要	

平成 29 年 6 月 16 日

各団体事務局 様

第 15 回長崎サミットでのディスプレイ展示について

第 15 回長崎サミットの開催準備を進めるにあたり、各団体より会場でのディスプレイ展示のご希望を伺います。前回展示いただいたディスプレイを含め、進捗中のプロジェクト等がイメージできるディスプレイ等、可能なものは今回も極力展示したいと考えています。

お忙しい中恐縮ですが、6月27日(火)までに事務局までご連絡をお願いいたします。

【ご参考】

(1)第 14 回長崎サミット ディスプレイ一覧

ディスプレイ等	担 当
世界遺産（長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産）	長崎県
アンテナショップ	長崎県
長崎県産酒で乾杯	長崎県
2017長崎ランタンフェスティバル	長崎市
沈黙—サイレンス—	長崎市
外国人観光客の受入態勢の取組例	長崎市
魚の美味しいまち長崎 四季の美味しい魚	長崎市
長崎新ご当地グルメ	長崎市
ソーシャルメディア仲介ロボット（見守りロボット）	長崎大学
ながさき100km徒歩の旅	JC
手作りランタン体験	JC
漁業と共生した潜水技術者育成トレーニング	日本漁場藻場研究所
EMEC とオークニー諸島との交流 海洋エネルギーと漁業・生態系	日本漁場藻場研究所
魚の美味しいまち長崎 海の幸グルメクーポン	長崎都市経営戦略推進会議

(2)第 15 回長崎サミット概要

- ①日時 平成 29 年 8 月 1 日(火) 9:30~12:30 (予定)
②会場 ホテルニュー長崎(鳳凰閣)

第 15 回長崎サミット ディスプレイ展示希望

団体名 _____

ディスプレイ等	ご担当部署・ご担当者	TEL

【連絡先】

長崎都市経営戦略推進会議事務局 担当 長嶋 山口
TEL 095-827-8581 FAX 095-895-8415
E-Mail jimukyoku@genki-nagasaki.jp

○大学生の地元就職関連 実績等

作成中

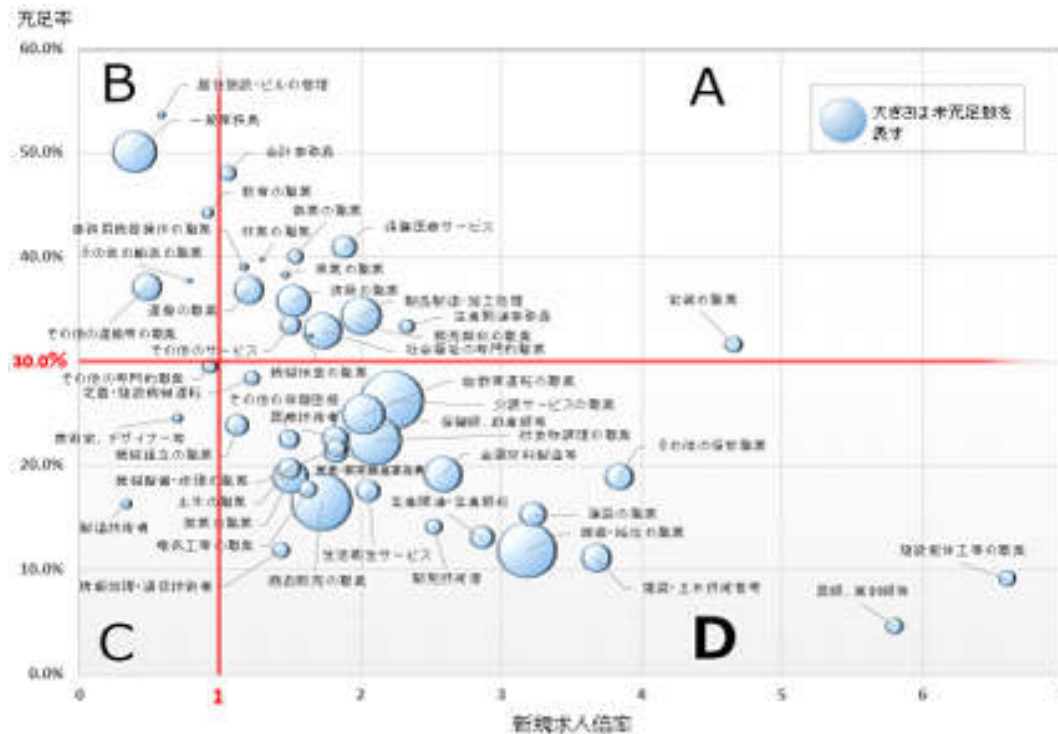
＜県内企業の求人及び充足率の状況＞

- ・多数の職種で求人に対する充足率が低位

図表35 職業別新規求人求職状況による人材不足状況の類型区分

◆ 求人倍率 1.0、充足率 30%を境として、A～Dの4類型に分類

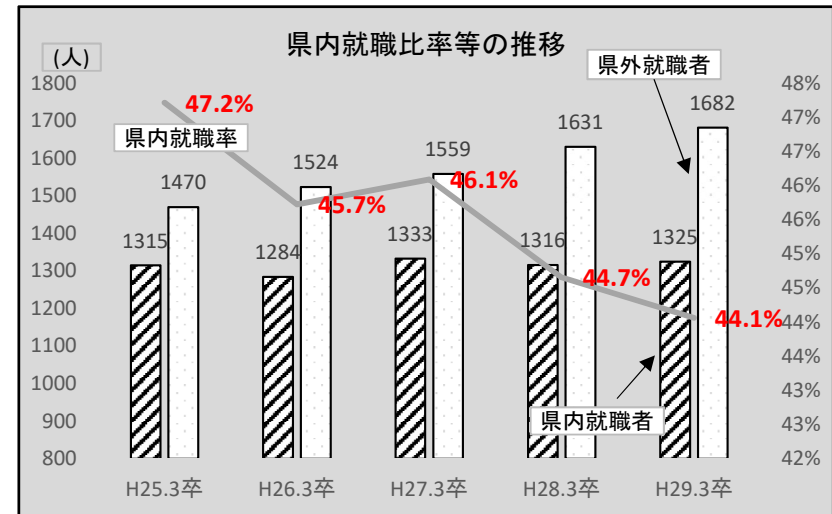
類型	状況	概説	緊急度
A	求人倍率:高 充足率:高	人手不足感はあるものの、求人すれば充足できている	○
B	求人倍率:低 充足率:高	人手は足りており、求人すれば充足できている	△
C	求人倍率:低 充足率:低	人手は足りているが、求人しても充足できない	○
D	求人倍率:高 充足率:低	人手不足であり、かつ、求人しても充足できない	◎



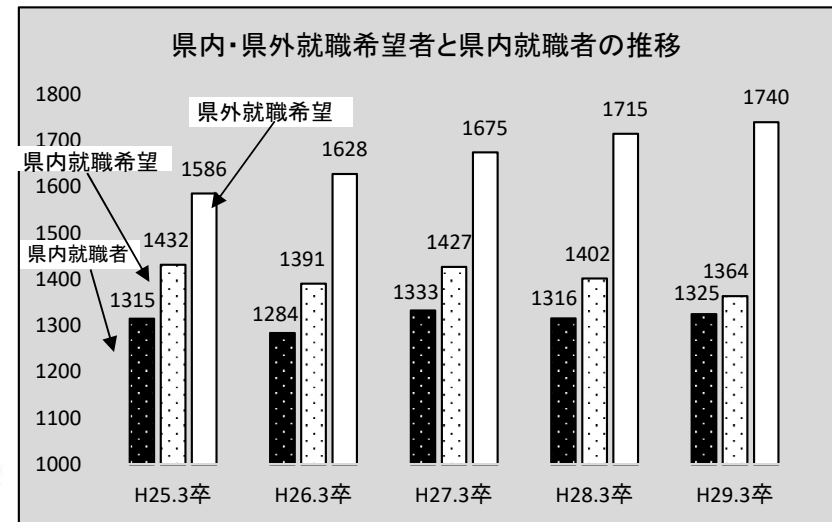
出典:長崎県産業人材育成戦略
(長崎労働局資料を基に長崎県が作成)

＜大学生の地元就職率の推移(5年間)＞

- ・地元就職率は低下傾向であるが、人数は1300人程度で横這い
- ・県内就職を希望するやや低下傾向で、県内就職者数と同等になりつつあり、県内就職者数が増加できるか不透明



出典:長崎労働局



出典:長崎労働局

○足元の環境変化、対策の必要性

- ・生産年齢人口の減少に伴う企業の人手不足は、構造的な問題として企業の大きなリスクとなってくる。
- ・売り手市場への環境変化が今後も継続することが想定される中、積極的・能動的な人材確保への取り組みが必要不可欠になっている。
- ・従来の取り組みの延長線上では対応不十分であり、企業・大学・行政・団体の連携が重要となってくる。

就職スケジュール
及び
H28年度の主な取り組み

時期	1年生	2年生	3年生	4年生							
			4月～	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月～
対策	地元志向の醸成期間			就活期間							
COC+	→										
インターンシップ	▶	▶	▶								
業界研究セミナー				→							
合同企業説明会				→							
会社説明会				→							
学内説明会				→							
採用・面接											→
内定											→
学生向け対策	地元志向の醸成期間			就活期間							
	COC+(長崎地域学・地方創生人材育成学士プログラム)										
	Nなび(企業情報、マッチング、企業動画等の情報発信等)										
	NAGASAKIしごとみらい博										
	・インターンシップ			・県内企業合同説明会(長崎大学) ・学内企業合同説明会(各大学) ・第1回学生と企業との交流会							
	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; color: red; text-align: center;"> 就活期間に入る前に、地元企業を知る機会が不足。知らなければ就職先候補になる可能性は低い。 </div>										
企業向け対策	・Nなび(企業情報掲載) ・誰もが働きやすい職場づくり実践企業制度(Nびか) ・人事担当者及び経営者向け採用力強化セミナー			・求人確保ベン(県)							

対策例
(既に取り組み
ている対策を含む)

学生が企業を知る取り組み	企業の魅力向上	大学と企業の連携
①企業見学会、工場見学会	①企業情報の積極的発信 ・HP、Nなび	①大学と企業の連携の仕組み
②企業独自のインターンシップ(ワンデー、長期)	②キャリアパス	②
③業界研究イベント(NAGASAKIしごとみらい博等)	③労働環境、福利厚生等	
④体験型イベント(スマコマ長崎等)	④情報伝達力の向上 ・キャリアメンター	
⑤企業と学生の交流会	⑤「Nびか」認証	
⑥出前講座	⑥女性活躍推進表彰	
⑦寄付講座	⑦企業格付け	
⑧共同研究		
⑨動画放映(TVCM、Nなび、大学学食等)		
⑩基幹製造業合同説明会		
⑪学生によるNなび企業情報作成		
⑫長崎プレイクスループプロジェクト		
⑬		
		地元志向 ①小・中・高生の地元理解の促進 ②地元出身者の県内大学への進学 ③Uターン ・県外大学進学者、県外就職者 ④奨学金 ⑤奨学金返還支援